

三六災害を語り継ぐ会

～三六災害から未来へ～



本年は伊那谷を襲った三六災害から50年の節目を迎えます。

昭和36年6月、大鹿村では大西山の崩落と鹿塩地区の土石流などで55名の尊い命と多くの財産を失う未曾有の被害を受けましたが、被災後に全国の皆さんから温かいご支援を受け、国・県関係者のご努力により安心・安全な村に復興することができました。

一方、本年3月に東日本大震災、長野県北部地震が発生し、想定をはるかに超える未曾有の被害をもたらしました。この節目の50年を契機として、大鹿村の災害経験者の体験談や災害の検証などを通して、子供たちへの災害記憶の伝承、これからの防災のあり方などを考え語り継ぐ会とし、希望ある未来へつなげていきたいと思ひます。

【日 時】 平成23年6月29日（水）午前9時～

【場 所】 大鹿村交流センター

【日 程】

- 9：00 開 会
- 9：01 黙 禱
- 9：03 あいさつ（大鹿村長、大鹿村議会議長）
- 9：10 三六災害報道ビデオ映写（10分）
- 9：25 三六災害経験者の体験談
 - 1. 北川集落を襲った土石流（仮題）（元北川在住者予定）
 - 2. 大西山の大崩落（仮題）（被災体験者予定）
- 10：10 大鹿中学校生徒作文発表 ～大鹿村の未来（仮題）～
- 10：15 休 憩（10分）
- 10：25 国・県の防災対策
 - 1. 天竜川上流河川事務所
 - 2. 伊那谷総合治山事業所
 - 3. 飯田建設事務所
- 10：55 講 演
「三六災害の特徴（仮題）」北澤秋司（信州大学名誉教授）
- 11：30 意見交換会
 - 1. 他の被災地で開催された座談会のまとめ報告
 - 2. 地域で将来へ語り継ぐもの
- 11：50 閉 会

*出席者：大鹿小中学校児童・生徒、村内団体役員（議会、自治会長会、老人クラブ、日赤奉仕団、商工会など）、国・県関係者、村民等一般者

*語り継ぐ会終了後献花・焼香を行います：大鹿村長、天竜川上流河川事務所長（大西慰霊碑・文満慰霊碑）